CSR | 野村不動産グループのCSR

CSRマネジメント

CSRマネジメントと「CSR/ESG方針と目標」

当社グループは、CSR委員会(委員長:野村不動産ホールディングス代表取締役副社長)を設置し、 CSRに関する方針や活動計画の審議、決定などを行っています。

同委員会は、野村不動産ホールディングス取締役会で決定された取締役・執行役員および社外取締役 で構成され、検討した結果は取締役会に報告し、経営計画や事業活動に反映しています。

また、下部組織として各部門・グループ各社の取締役等で構成されるCSR推進会議を設置し、活動計画の実践およびグループ各社に対するCSR啓発を行っています。

2017年度は「CSR委員会」および「CSR推進会議」を7回開催し、4つの重点テーマと2つの推進基盤におけるグループ方針および重点項目(マテリアリティ)を策定し、さらにSDGsや事業活動と紐づけた具体的な目標を設定しました。

今後はこの方針に沿ってPDCAを回し、CSR活動を推進していきます。

■ 野村不動産グループCSR/ESG方針

		SR -マ	グループ方針	重点項目	グループ目標・指標	関連するSDGs
F		環		環境マネジメントの高度化	環境認証(DBJ Green Building、 LEED、CASBEEなど)取得	6 SECREMAN 7 SEAS-SEASON 11 SERVICES SERVICES
			野村不動産グループは、気候変動や天然資源の		CO ₂ 排出量削減	₩ ALL
			枯渇、生態系の崩壊を重要な社会課題と認識し、 省エネルギー・低炭素社会への取り組みや再生可	気候変動への対応	太陽光発電促進	12 OFFIEE 13 ANTEN 15 HORDES 15 WAS
					エネルギー使用量削減	
-		境	に配慮した街づくりを通じて、持続可能な社会の	効率的な水資源の利用	水使用量削減	
			実現に貢献します。また、環境法令・規制を遵守し、 適切な環境マネジメントを推進します。	生物多様性への配慮	生物多様性認証 (ABINC/JHEP/SEGES)取得	
				適切な資源利用と汚染防止	廃棄物排出量削減	4
				2302001310273102	国産・FSC認証木材使用促進	
			野村不動産グループは、建物やインフラの老朽化・ 陳腐化、都市機能の低下、自然災害の増加を重要	設計・施工における 安心・安全品質の向上	設計基準・品質マニュアルの遵守	9 SECUREN 11 SECURE 13 RESERVE
	4	安心・安	な社会課題と認識し、適切な品質管理に基づく 商品・サービスの提供や持続可能な街づくりによっ	運営・管理における 安心・安全品質の向上	管理品質の向上と アフターサービスの充実	ABB
	4つの重点	安全	て、お客さまや地域社会の安心・安全の実現に貢献します。また、非常時にも事業や生活を継続できる職住環境づくりを推進します。	長寿命・高耐久化の取り組み	長寿命・高耐久の商品・ サービスの提供	
	デー		とも場に依允ノベクと正正とします。	災害時の安心・安全の確保	防災対策の拡充	
	4	_	野村不動産グループは、少子高齢化や空き家の増加などによるコミュニティの機能不全や活力低下、つながりの希薄化を重要な社会課題と認識し、建		コミュニティを活性化する 設計・デザインの拡充	8 RAGINA 11 BARRIGER 17 AND
		コミュニティ	築設計上の取り組みや運営上のサービスを通じて、 お客さまや地域社会のつながりを醸成し、コミュ ニティの育成を支援します。このことにより、非常 時の円滑な共助や地域・コミュニティの活性化を 促し、共生型社会の実現に貢献します。	コミュニティへの配慮と活性化支援	運営・管理における コミュニティ活性化支援	
		健康・快適	康 とコミュニケーションを取り、さまざまな人がその	高齢化・多様性への対応と 健康支援	ユニバーサルデザイン推進	3 FKTOAK 10 APMONTE 11 由ARMONE 2005(He 2005(He
					健康支援・健康寿命増進	
S				顧客満足と快適性の向上	顧客満足向上のための コミュニケーション	
			実現に貢献します。		快適性の向上	
			野村不動産グループは、持続可能な社会の実現に向けて、事業活動を継続し、企業価値を向上していくために、すべての役職員が心身ともに健康で活き活きと仕事に取り組むことが企業の持続的成長につながる「ウェルネス経営」を目指します。また、従業員やサプライヤーの安全衛生と健康の	従業員の健康と安全の追求	労働災害の防止	り すべての人に
					従業員の心身にわたる 健康管理の徹底	3 FATOLIS A ROBINS 5 SIA-498 RELEASE
					有給休暇の取得促進	8 #8604 10 APROXYS
					過重労働の防止	
				ダイバーシティの推進	女性活躍促進	
		人材	確保が重要な経営課題であると認識し、これを推		育児・介護支援	
			進します。そして新たな価値を創造し続けるため に、多様性がもたらすイノベーションが重要である		高齢者・障がい者雇用促進	
	2		と認識し、さまざまな視点・考え方を持った人材	公正で働きがいのある職場づくり	公正な評価・報酬の実施	
	推		が、属性に関わらず、個性や能力を十分に発揮できるよう ダイバーシティの推進と公正で働きがい		従業員満足度の向上	_
	2つの推進基盤		きるよう、ダイバーシティの推進と公正で働きがい のある職場づくりに努めます。	人的資源の高度化	人材育成の強化	_
	infit.			サプライヤーの安全の確保	CSR調達ガイドラインの遵守 	
			取材不動産が11デ!+ 性煙可能も社会の中で1-	コーポルートギバナンフ		
		マ	野村不動産グループは、持続可能な社会の実現に 向けて、事業活動を継続し、企業価値を向上して	コーポレートガバナンス	取締役会における多様性確保	5 xx1.23 10 Armorry 16 wacast 16 vco.xx
		ネジ	いくために、コンプライアンスの強化、リスクマネ ジメントやコーポレートガバナンスの推進が重要	コンプライアンス	コンプライアンス遵守	₹ (≛,
G		メント	な経営課題であると認識し、これを推進します。	リスクマネジメント	リスクマネジメントの徹底	
		体制	体 また、お客さまや地域社会、従業員やサプライヤー	人権	人権研修の徹底	
	*** を含むすべての人の人権を尊重した事業活動を行います。			サプライヤーマネジメントの高度化	CSR調達ガイドラインの遵守	

「4つの重点テーマ」の決定プロセス

当社グループは、2015年度に「4つの重点テーマ」を下記のプロセスを経て決定しました。

STEP1. 社会課題を幅広く検討

「GRIガイドライン第4版」「ISO26000」などの国際的なフレームワークを参考に、社会課題を幅広く抽出。当社グループの事業と関連性の高い社会課題から、重点テーマの候補を選定しました。

STEP2. 当社グループにとっての重点テーマを仮設定

CSR委員会において、STEP1.で選定した候補について当社グループの事業への影響度(関連性やリスクの大きさ)を議論し、重点テーマを仮設定しました。

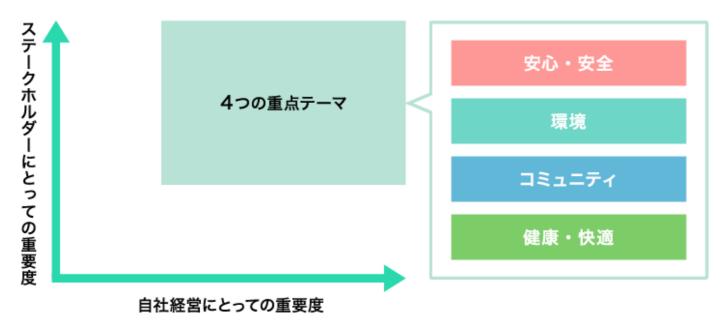
STEP3. ステークホルダーにとっての重点テーマを抽出

主要ステークホルダーに、当社グループが対応すべき社会課題についてアンケートとヒアリングを実施。ステークホルダーにとって重要と思われるテーマを抽出しました。

主なステークホルダー	対話の機会	主要なテーマ
お客さま	商品・サービスの説明意見交換アンケート専用窓口の設置	・安心・安全・品質の向上・コミュニティ活性化・ユニバーサルデザイン
従業員	・人事部や上司との面談・労使間協議・グループ報・社内報の発行	ダイバーシティ働き方改革中長期キャリア
地域コミュニティ	意見交換アンケート	コミュニティ活性化環境保全
行政	• 意見交換	コミュニティ活性化環境保全コンプライアンス
サプライヤー	調達ガイドライン意見交換安全大会	商品・サービスの企画・設計品質管理コンプライアンス
株主·投資家	株主総会IRミーティング報告書発行	・決算・財務状況・中長期の事業戦略

STEP4.「4つの重点テーマ」を決定

ステークホルダーと当社グループ双方の視点から、重要度に応じてテーマをマッピングし、4つの重点 テーマを決定しました。



「4つの重点テーマ」について、社会課題・重要な理由・当社グループのアプローチ、関連する経営戦略などについて整理しました。

4つの重点テーマ	安心·安全	環境	コミュニティ	健康・快適
主な社会課題	建物やインフラの老朽 化・陳腐化、都市機能の低 下、自然災害の増加	地球温暖化、気候変動、天 然資源の枯渇、生態系の 崩壊	少子高齢化や空き家の増加などによるコミュニティの機能不全や活力低下、つながりの希薄化	少子高齢化やグローバル 化、個人の価値観・ライフ スタイルの多様化
重要な理由	・不動産事業や街づくりは、ステークホルダーの生活や事業を支える基盤であり、安心・安全の実現は不可欠 ・建物などの老朽化・陳腐化を改善するだけでなく、将来に向けて、長寿命・高耐久化を実現する必要がある	 当社グループの事業は、天然資源やエネルギーを多く利用しており、環境問題は事業継続に影響する 環境問題は、当社グループの事業だけでなく、ステークホルダーの生活や事業にも影響する大きな課題 	 持続可能な街づくりのためには、コミュニティが健全に機能し、主体的に活動することが不可欠 健全なコミュニティを育成するために、設計デザインやサービスでサポートする必要がある 	 街やコミュニティが持続可能であるためには、個人個人が健康・快適であることが大切 さまざまな属性の人が自立して快適に過ごすために、設計デザインやサービスでサポートする必要がある
当社グループの アプローチ	適切な品質管理に基づく 商品・サービスの提供や 持続可能な街でよりに よって、お客さまや地域 社会の安心・安全の実現 に貢献します。また、非常 時にも事業や生活を維続 できる職住環境づくりを 推進します。	省エネルギー・低炭素社会への取り組みや再生可能エネルギーの活用、適切な資源利用などの環境に配慮した街づくりを通じて、持続可能な社会の実現に貢献します。また、環境法令・規制を遵守し、適切な環境マネジメントを推進します。	建築設計上の取り組みや 運営上のサービスを通せて、お客さまや地域社会 のつながりを醸成し、コミュニティの育成を支援 します。このことにより、非常時の円滑な共助や地域・コミュニティの活性 化を促し、共生型社会の 実現に貢献します。	ステークホルダーとコミュニケーションをとり、さまざんがその属性に関わらず、健康で快きるよう商品・サービスを提供り、多様性ととしる。 提供しまり、健やかで話します。 会に関わるす。この事面とはある。 の実現に貢献します。
バウンダリー	当社グループ、サプライ ヤー、お客さま、地域コ ミュニティ	当社グループ、サプライ ヤー、お客さま、地域コ ミュニティ	当社グループ、サプライ ヤー、お客さま、地域コ ミュニティ	当社グループ、サプライ ヤー、お客さま、地域コ ミュニティ
関連する経営戦略 ①デベロップメント 分野での事業量・ 事業領域の拡大 ②サービス・マネジメント 分野での差別化、 競争力の発揮	①災害対応も含めた建物 の安心・安全品質の向 上と品質管理の徹底 ②建物の長寿命化を可能 にする修繕工事やメン テナンスの充実	①建物における環境価値の向上とグリーンビルディング認証の取得促進 ②エネルギー関連ビジネスの展開による環境配慮と顕客サービスの充実	①多機能で高い利便性を 有する街づくり「都市 型コンパクトタウン」 の開発 ②維続的なコミュニティ 活性化支援サービスを 通じた持続可能な街づ くり	①高齢者など多様な属性 のステークホルダー が快適に過ごせる街づ くり ②サービス付き高齢者向 け住宅の開発と健康寿 命増進サービスの提供
該当するGRIの側面	排水および廃棄物、顧客 の安全衛生	エネルギー、水、生物多様性、大気への排出、排水および廃棄物、サプライヤーの環境評価	間接的な経済影響、地域 コミュニティ、サブライ ヤーの社会への影響評価	多様性と機会均等
主に関連するSDGs	9 111 111 113 113 1111 11	7 10000000 11 10000000 11 10000000 11 1000000	8 ==== 17 ==== 17 ==== 18	3 minut 10 deserve 11 minute 11 minu

STEP5. 関連する事業・業務の抽出

事業部門にヒアリングの上、「4つの重点テーマ」に関連する事業・業務を抽出し、事業部門と検討しました。

STEP6. 評価および論点の整理

国際的なフレームワークや責任投資における環境・社会・ガバナンスに関する論点を整理しました。

STEP7. 方針・目標の決定と承認

CSR委員会での議論を経て、グループ横断のCSR目標を決定。野村不動産ホールディングス取締役会にて承認されました。

ステークホルダーとの対話

当社グループは、ステークホルダーの皆さまとの誠実なコミュニケーションと信頼関係の構築に努めています。

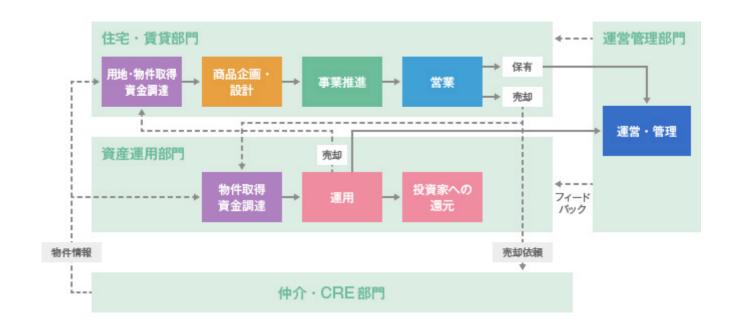
ステークホルダー	主な回答
お客さま	・地域活性化を担い周辺住民からのイメージ向上に期待・生態系への配慮や持続可能性の高い素材選定に期待
従業員	コミュニティの活性化は新たなサービスや事業になる高齢者が増える中で健康サービスと快適空間の提供が重要
サプライヤー	・安心・安全は社会インフラである不動産の基本・コミュニティ形成と健康・快適への取り組みが相まって広がっていくことを期待したい
株主·投資家	・安心で安全な不動産は社会と顧客からのニーズ・潤いのある街づくりが貴社に期待されている
CSR専門家 (社会的責任投資・環境など)	環境パフォーマンスと経済性を両立してもらいたい安心・安全を重視している企業だと思うので期待が大きい
NPO・NGO (環境・コミュニティ・建築など)	・高齢者世帯がこれから増加するため取り組みに期待したい・建築や解体は環境負荷が大きい

CSR | 野村不動産グループのCSR

事業とCSR

野村不動産グループは、事業活動において、配慮すべき社会課題やステークホルダーの皆さまの期待 に向き合い、CSRの取り組みを推進しています。

野村不動産グループの事業活動



事業活動	主な活動	主なステーク ホルダー	主要な社会課 題への対応	主に関連する SDGs
用地・物件の 取得/ 資金調達	 物件調査 物件可定環交札契境 調・契・数 が、対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・	売主、仲介業 者、金融機 関、投資家、 不動産鑑定 士、従業員な ど	コテ配性サヤジのはサイントの活援イネト化	10 人や国の不平等 をなくそう
商品企画・設計	• まコテアト商設イ ども地ュヘケ 企デを増工の一 画ザ	お客さま、地 は は は な に た に た に た に た に に に に に に に に に に に に に	• ● ● • • • • • • • • • • • • • • • • •	 6 安全な水とトイレを世界中に 7 エネルギーをみんなに インプラーン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

事業活動	主な活動	主なステーク ホルダー	主要な社会課 題への対応	主に関連する SDGs
事業推進	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	お 域 ィ 社 ど	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	11 使み続けられる まちづくりを

事業活動	主な活動	主なステーク ホルダー	主要な社会課 題への対応	主に関連する SDGs
営業(販売、テナント募集)	・ マィホーント広重説契ケグム、レ成 事 が パッ 項	お客さま、地 域コミュニティ、NPO、司 法書士、従業 員など	高多の健康とののとのを接入のをを表してを表してのののの	3 ずべての人に 健康と福祉を
運用/投資家への還元	・ かっと なり・ からまた ない からまた ない からまた は からまた からまた からまた からまた からまた からまた からまた からまた	投さ関イトコイどのでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	3 すべての人に 健康と福祉を

事業活動	主な活動	主なステーク ホルダー	主要な社会課 題への対応	主に関連する SDGs
運営・管理	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	お域イサ先事員お域イサ先事員	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	3 すべての人に

事業活動	主な活動	主なステーク ホルダー	主要な社会課 題への対応	主に関連する SDGs
仲介・CRE	 物件調査 物件調査 定環境要明 契約 など 	お客さま、仲介 介 と 会 で まる 、 金 を 者 不 の で で で で で で で で で で で で で で で で で で	・ この活援・へと援足性ののには、・ なりのは、・ なりのは、・ なりのは、・ なりのは、・ なりのは、・ なります。・ なりますます。・ なりますます。・ なりますますます。・ なりますます。・ なりますますます。・ なりますますますますますますますますますますますますますますますますますますます	8 報告がいる経済成長も

「人材」「マネジメント体制」に関する社会課題への対応はCSR推進基盤となるため、全ての事業活動に関わります。